

[060]ICER Newsletter

<https://hdl.handle.net/2324/6610210>

出版情報 : ICER Newsletter. 60, pp.1-, 2022-12. Innovation Center for Educational Resource,
Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



ICER NEWS LETTER

Innovation Center for Educational Resource



REPORT JMOOC「化石化のメカニズムを探る ~タフオノミーへの招待~」速報!

教材開発センターが制作したMOOC講座の第9弾「化石化のメカニズムを探る~タフオノミーへの招待~」は、九州大学総合研究博物館の前田晴良教授が講義をご担当になり、2022年8月19日(金)~9月16日(金)にわたりJMOOCにおいて開講しました。今号はその受講結果を速報します。

まず受講者数と修了者数についてですが、受講者数は515名に達しました。うち修了者数は246名となっており、修了率は、約47.8%という、一般的なMOOCでの10%以下という修了率(e.g., Alraimietal.,2015)と比較して高い値を示しています。次に、ログイン者数とログイン率についてですが、ログイン者数は383名でした。ログイン率は74.4%となっています。修了後の9月24日(土)に実施された反転授業においては、50名弱の方が参加され、熱心に質疑応答がなされました。

教材開発センターでは、今後も学習者に良質な学びの場を提供をしたいと考えています。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。



REPORT 文学部日本史学「宮中儀礼を対象とした教材開発」近況報告

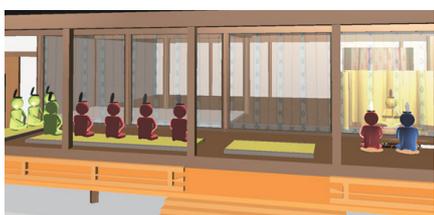
2014年度から、人文科学研究院 坂上康俊教授(現・九州大学名誉教授)の研究室メンバーと協働で日本史学(宮中儀礼)に関する副教材の開発を実施しています。2014年度~2016年度前半は平安時代の「官奏」とよばれる宮中儀礼に関する教材開発を実施し、2016年度後半からは、「除目」とよばれる諸官を任命する3日間に渡る宮中儀礼の様子を3次元CGアニメーションで再現する対話型電子教材の開発に取り組んでい

ます。第1日目の儀礼は、以下のURLにて公開しています。一昨年度から、第2日目の儀礼の制作を実施しています。「官奏」よりも登場人物の振る舞いが細かく、それを表すアニメーションデータの作成に多くの時間を要しています。

なお、坂上康俊先生は、放送大学講義「古代中世の日本」を来年度から担当されます。摂関時代の収録部分の中で、本取り組みで開発しました「除目」アニメーションが使われ放送される予定で

す。また、聖心女子大学の現代教養学部での授業で、佐々木恵介教授が平安時代の政務処理を説明する際に、本取り組みで開発しました「官奏」アニメーションをご利用になっているそうです。佐々木教授は「除目」アニメーションの完成も楽しみにしているそうです。このように、本取り組みの成果は学外でも活用されております。

■ 第1日目の儀礼
https://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/jimoku_syonichi/



連載

4 「次世代ICT活用インタラクティブ電子教材開発システム」のご紹介 SwipeVideo

SwipeVideoは、複数台のカメラで撮影された映像をスワイプすることで自由に視点をスイッチングしながら視聴できる多視点動画です。実験や実習の様態を多視点動画として

撮影することで、学生は実験や実習前に学生の視点で動画を見て予習することができます。また、以下のURLは、教材開発センターが保有しております3Dプリンターの使い方を

説明する多視点動画です。このような説明動画の制作にも利用できます。可搬型で何処でも撮影可能です。是非ご活用下さい。

■ SwipeVideoによる3Dプリンターの使い方 <https://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/SwipeVideo/ICER/3dprinter/>



お問い合わせ
✉ video@icer.kyushu-u.ac.jp
☎ (内線)90-6107

全学FD 「電子教材著作権講習会」「電子教材開発者向け講習会」をオンライン開催します

電子教材著作権講習会

「電子教材著作権講習会」では、録画した講義や講義資料・学習資料等をWeb上で公開しようとするときには、その中に含まれている表、画像、文章等に他人の著作物が含まれている可能性があり、利用するための使用許諾申請が必要となる場合があります。これら公開資料を作成するときの問題点や必要事項について、ガイドライン等に基づき、分かりやすく解説します。また、H30年5月に成立しました「著作権法の一部を改正する法律」により施行されました「授業目的公衆送信補償金制度」の内容等も含めてご説明いたします。

12/23 金
10:30~12:00

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/233>
FDポータルサイトよりお申込み下さい

電子教材開発者向け講習会

「電子教材開発者向け講習会」では、「教育改革推進本部・教育方法・教材開発部門」活動の一環、また「データ駆動イノベーション推進本部・次世代型オープンエデュケーション推進部門」共催として実施いたします。本講習会の目的は、ICTを活用した教育の推進です。教材開発センターの活動を広く周知することにより、ICT活用教育の普及啓発を図ります。本講習会の主な内容は、教材開発センターの主要な活動である「講義等ビデオ教材の撮影・編集・公開」と「3次元CG等高度ICT活用電子副教材の開発」の事例紹介です。

12/23 金
13:30~15:00

<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/234>
FDポータルサイトよりお申込み下さい

連絡先 ☎ (内線)90-6108 担当 井本 ✉ tokyozai@jimu.kyushu-u.ac.jp

f <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>

t https://twitter.com/ICER_KyushuUniv

g <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>

✉ info@icer.kyushu-u.ac.jp

📄 バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for Educational Resource
KYUSHU UNIVERSITY

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.